

2012年度事業計画

【基本方針】

教学部門については、講座組織の合理化と若手教員の積極的な登用などにより組織の活性化を図り、さらに効率的かつ効果的な教育体制に整備する。

教育については、特待生制度の導入によって、教育指導・育成の効果を着実に上げつつある。第6学年と卒業生に対する国家試験対策については、継続して積極的な教育体制と学習環境の整備を図る。

学生募集については、新入学生からの大幅な学費の見直しによって、志願者数が大きく増加した。本年度においては、本学の持つ利点を積極的にアピールし、効果的な学生募集活動に努める。また、留学生募集については、説明会や学校見学会等を積極的に実施し、入学後の留学生支援体制を整備し、留学生が生活しやすい環境作りに努める。

病院事業については、歯科部門においては、診療組織や人員体制の見直しを図り、さらに効率的な運営を目指す。また、医科部門については、地域に必要とされる、新たな診療部門を検討しその実現に努める。これらの医療事業や健診センターにおける健康診断事業を通じて、地域や近隣の企業や団体等に貢献すべく事業を拡大していく。これらによって本事業分野の採算性の改善と事業関連費用の効率化を重要課題とし、組織整備と事業の効率化を強力に推進する。

管理運営部門については、組織の効率化のための改革を実施し、安定的に運営できる体制に整備する。また、施設設備に関連する支出面については、引き続き緊急かつ不可避の案件にしばった重点措置とすることとし、病院・教育研究関連の購買業務等についても効率化・合理化を重要な課題として、経費削減に努める。

【事業計画】

〈I. 教育・研究〉

■歯学部

- ①建学の理念に基づき、人間教育全体を教育目標の範疇とし、職業専門家としての歯科医師のみならず、人間的倫理観、道徳観を涵養することにより、社会に貢献できる人材育成を行う。
- ②歯科医師としての専門知識・技能習得における礎になるよう、基礎知識・基本技能を理解するための教育学習支援システムを強化する。
- ③自発的学習と自己研鑽を促すため、自らの知識・技能・態度を客観的に判断する力と、向上心を身につけさせる。
- ④心身のケアを図り、既存施設を有効に利用することで、勉学に集中できる最善の環境づくりに努める。
- ⑤将来の人生設計を変更し歯科医師を目指す社会人や他学部から歯学部へ編入学を希望する学生にも対応した入試制度とする。
- ⑥国際的ニーズに対応し、海外からの入学希望者に対しても受験しやすい環境や入試制度を整備するとともに、入学後の支援体制を整備する。

■大学院歯学独立研究科・総合歯科医学研究所

大学院および研究所を中核とした教育・研究の分野では、最先端の教育・研究体制の構築を目指して、人類の共通の課題である生命科学分野への取り組みを一層強化する。

教育においては、“研究型大学院”を掲げて、先端歯科医療の研究と技術開発が融合した研究拠点の形成と、歯科医学分野における総合的な人材育成に取り組む。また、国際化を目指して、2012年度より大学院の外国人留学生特別選考を行い、秋期入学も可能とした対応を行うこととした。

研究においては、ハーバード大学の他、国内の12研究機関（大学、企業、その他研究機関）と連携し、共同研究を進め、最先端の研究に取り組んでいる。

■松本歯科大学衛生学院

少子化・高齢化の進展などの環境変化に伴い、社会構造の複雑化とともに人々の生活スタイルも多様化が進んでいる。生活習慣の変化は、生活習慣病を増加させ、健康や医療に対する人々の意識を高め、それとともに国民からの医療従事者に対する要望はますます高度になっている。歯科医療の分野においても、高齢化の進展、医療の高度化・専門化の環境の変化に対応するため、歯科衛生士に対する資質の向上が求められ、修業年限が3年制となったことに伴い本学院においても、2010年度に3年制課程を開設した。

2012年度は、3年制体制のより一層の拡充と定員確保の強化を図る。

〈Ⅱ. 病院・診療〉

本学病院は、病院の理念を実現するため「やさしく、安全、親切で、確かな医療の提供」をモットーとして掲げている。

やさしく、親切な病院については、患者の立場に立ったシステムをさらに改善する。

また、医療の質、安全の確保体制については、安全性と効率性、適切性の視点からの医療サービスの提供プロセスと管理体制の強化を図る。

〈Ⅲ. 管理・運営〉

基本方針に基づき、施設、設備面や経常的な支出は引き続き見直しを進め、必要最低限なものに絞り込む。教職員組織については、現在の体制を見直し学生数に見合う組織へと整備を進め効率的な運営を目指す。